

クローズアップ NGO・NPO

特定非営利活動法人

ワールドランナーズ・ジャパン (WRJ)

代表理事 加藤 典宇暉

走り続けて25年、WRJは、走るNGOです

■ 共通のビジョンを掲げ ■ サポートしあって、走る

ワールドランナーズ (WR) は、慢性的な飢餓を終わらせるための活動に参加していた、走ることの好きな人たちが「自分たちの得意な走ることで、飢餓を終わらせることに貢献できないだろうか?」というところから1978年サンフランシスコで設立された国際的なNGOです。WRJは、WRのモスクワ・ピースマラソンに参加した日本人8人が中心となり、1989年8月に活動を始めました。



モスクワ・ピースマラソン日本チームのメンバーたち

1989年のモスクワ・ピースマラソンでは、赤ちゃんの乗っ

た乳母車を押しながら走るお母さん、グループで横断幕を持ち合唱しながら走る人たち、沿道の人たちに自分の走る目的を書いたカードを配りながら走る人たちが、声を掛け助け合い、大会の目的を思い思いの形でアピールしながら、全員が共通のビジョンを共有し、走り、その中には感動がありました。

■ WRJ二つのビジョン

WRJは、走るNGOです。「地球上から慢性的な飢餓を終わらせること」と「走ることを通じて貢献するという新しい文化を創作し、根付かせ、

拡大してゆく」という二つのビジョンを掲げ、活動開始から現在に至っています。設立当時、「走ることでスポンサーを募り、そこで寄せられたお金を寄付に回すこと」や「ある目的のため大会を開催し、参加費から必要経費を除いた収益をその目的のために寄付する」ことは一般的ではありませんでした。「走ることを通じて、新しい文化を根付かせたい」という思いから、二つ目のビジョンを掲げました。もちろん、WRJは、走る人も走らない人も、この二つのビジョンに同意できる方は大歓迎です。

■ 専従スタッフはおかず、 ■ すべてボランティアで運営

WRJの運営は、7月から翌年6月を会計年度とし、年1回の総会と、年1~2回の理事会、毎月1回以上開催される運営委員会で意思決定をしています。専従スタッフをおかず、すべてボランティアで運営しています。資金的にも会費収入をベースに自己資金による運営が設立以来の基本となっています。日常的な活動は18人の、自らやると手を挙げた運営委員がコアとなって行います。30代~60代、仕事をしながらの参加となるため時間を作り出しての活動となります。

■ AFRICAの大地を走る— ■ AFRICAプロジェクト

慢性的な飢餓の現地である、アフリカの人々を元気づけるため、ケニヤ、タンザニアのスラムや農村、マサイの村の自律プロジェクトを支援して

きました。栄養改善、衛生的な水の確保、学校の建設、女性の自立支援、技術訓練、保健医療、収入を得るためのプロジェクトなど、さまざまなサポートをしています。

WRJは活動を始めて25年がたちました。1990年から開始したアフリカへのチーム派遣は20回、延べ162人におよ



タンザニア、ブルで建設中のシンギランド中等学校の前で

び、現地のプロジェクトに6,000万円近い貢献をしてきました。慢性的な飢餓を無くすことをビジョンとする私たちにとって、直接アフリカの人々をサポートできるAFRICAプロジェクトは大きな意味を持ちます。「日本でスポンサーを募り、アフリカで走ることで、飢餓を終わらせる」という一つのプロジェクトが、何千人というアフリカの人々の未来に違いを創ります。走ることで関われるエキサイティングな機会です。

アフリカの空気に触れ、アフリカの水を飲んだ参加者たちは、そのそれぞれのアフリカ経験を日本に持ち帰ります。これまでアフリカと関わりを持ったことのなかった参加者が、身近な人たちにこの経験を語ることで、参加の意義を再確認し、身近な人たちにも影響を与えることができるのです。

タンザニア、アリューシャで開催されていた「マウントメルレー国際マラソン」の休止後、現地訪問時に走る機会はなくなりましたが、現地プロジェクトの支援は現在もWRJの事業の大きな柱となっています。

■ 走ることを通して ■ 貢献できる機会を提供

WRJは、ランニングイベントを開催し、多くの人たちに、貢献するために走るという機会を提供しています。「新春ランニング感謝祭」は、「走ることで貢献できてありがとう！」をキャッチフレーズに開催し、2014年で15回目を迎えました。2月の早春の多摩川を走り、ハーフマラソン、

10km、5kmの大会となっています。

「WRJチャリティーリレー for AFRICA」は、「アフリカの子どものための未来のために」と銘打ち慢性的飢餓の影響を真っ先に受けるアフリカの子どものサポートしようという目的で走ります。初夏、5月新緑の多摩川をチームで走る20kmリレー、5km個人、3kmキッズ、3km親子など、家族や仲間に参加できる大会です。

「チャリティーラン in グローバルフェスタ JAPAN」は、「走ることで国際貢献」を掲げ、グローバルフェスタJAPAN最大の参加型イベントとして1994年第1回大会から開催してきました。2014年の第20回大会までに1万人を超えるランナーが参加し、およそ1,400万円が、NGO13団体を通し11か国20の現地プロジェクトに寄付されています。



定期ラン参加者の皆さん

また、「定期ラン・不定期ラン」というイベントも行っています。定期ランでは、初心者でもフルマラソン完走可能なランナーになれるよう、ベテランランナーが、優しく丁寧に指導します。WRJの基本である「走る」ことを共有するための、誰でも参加できる月1回の定期練習会となっています。また、その都度呼びかけ、知らない街や自然を楽しむための不定期の走る機会も提供しています。

WRJでは国際貢献やNGO活動への参加の機会として、「走る」という切り口を提供し続けています。自治体関係者の方やマラソン初心者の方、サポーター、ランナー、ボランティア、どんな形での参加も大歓迎です。お待ちしております！